

「よい子 強い子 伊丹の子」

伊丹っ子



学校だよりNo. 24

令和5年11月1日

伊丹市立伊丹小学校

校長 磯田 かおり

修学旅行 10/26 (木) 27 (金) で貴重な体験

【1日目】

学校— (バス) —新大阪駅— (新幹線) —広島駅

昼食は、広島駅前で「広島焼き」をいただきました。お店の方にヘラを使った切り方、ヘラに乗せて口に運ぶ食べ方を教えていただきました。キャベツがいっぱいで麺がパリパリしていて美味しかったそうです。関西のお好み焼きとの違いも楽しんでいました。



広島駅— (路面電車) —原爆ドーム前—平和記念公園—宿

午後は班ごとに、平和記念公園で碑めぐりをしたり、平和記念資料館を見学したりして、じっくりと平和について考える時間をとりました。



夕方には原爆の子の像の前でセレモニーを実施。全校生で作った千羽鶴も奉納し、戦争の悲惨さ、命の大切さ、平和の大切さについて思いを届けました。子どもたちの澄んだ歌声が広島に響いていました。

【2日目】

宿— (バス) —宮島口— (フェリー) —宮島 [厳島神社見学・お買物] — (フェリー) —宮島口— (バス) —広島駅— (新幹線) —新大阪— (バス) —学校

広島も宮島も、たくさんの修学旅行生や海外からの観光客等で大変な人混みでした。買い物袋に口を突っ込んでくる鹿もたくさん。厳島神社を見学した後は、お買物を楽しみました。自分への記念の品や、家族や友達へのお土産等、限られた予算の中でじっくり吟味して選んでいました。



保護者の皆様には、朝早い出発でしたが元気に送り出したり見送ったりとご協力いただき、本当にありがとうございました。みんな嬉しい気持ちで出発することができました。

「行ってきます。」「行ってらっしゃい。」と、大好きな家族が待っていると当たり前に見える日常は、とても幸せなことだと改めて思います。世界で武力紛争によりたくさんの人々の命や日常が奪われている昨今。みんなが安心して過ごすことができる平和を守っていくために、自分にできることをぜひ家族で話し合ってみてください。周りの人の気持ちを思いやること、優しい言葉を発すること、小さなことでも続けていけたら素晴らしいと思います。